

鷺沼マリーンズ優勝

習志野市少年野球夏季大会

習志野市制施行70周年記念・第55回習志野市少年野球夏季大会が7月20日から28日まで第一カッター球場ほかで開かれた。

開会式では習志野市少年野球連盟の松丸泰司会長が「打順が来たら、チャンスを生かしてヒーローになって下さい。この夏季大会でたくさんヒーローが出ることを期待します」と参加13チームの選手たちを激励。選手を代表して美花レジェンドの秋月勇人主将が「最後まで戦い抜くことを誓います」と宣誓した。

開催に合わせて少年野球連盟では、能登半島地震被災地の石川県の少年野球球児を支援するための義援金を募り、各チームをはじめ



優勝の鷺沼マリーンズA



準優勝のならしのフレンズ



第3位の向山ファイターズ



第3位の津田沼少年野球団

多数の方から多くの義援金が集まった。義援金は千葉県少年野球連盟を通じて、7月27日から石川県で開催されたNPBガールズトーナメント全国大会で石川県学童野球連盟に軟式ボールとともに贈られた。

大会は4日間にわたる熱戦の結果、鷺沼マリーンズが9年ぶりの優勝を果たした。鷺沼マリーンズは11月開催の千葉県少年野球選手権大会(ろうきん旗)に出場。

大会には習志野ライオンズクラブ、習志野中央ライオンズクラブ、習志野ロータリークラブ、習志野中央ロータリークラブが協力。活躍を称え、習志野ライオンズクラブからは銅メダル

が、優秀選手には習志野中央ライオンズクラブから楢が贈られた。

▽個人賞 習志野中央ライオンズクラブ賞
 △最優秀選手賞 中里奏太(鷺沼マリーンズA)
 △最優秀打撃賞 原田健太郎(鷺沼マリーンズA)
 △最優秀投手賞 岩沢航汰(ならしのフレンズ)
 △最優秀敢闘賞 浅沼文太(ならしのフレンズ) 縄村佳己(向山ファイターズ) 松友寛太(津田沼少年野球団)

▽主催 習志野市少年野球連盟・習志野市教育委員会
 △後援 習志野朝日株式会社・市内朝日新聞販売店・JA共済千葉

大会結果は次の通り。



選手宣誓する秋月主将

回戦	対戦相手	スコア	投手
△1回戦	藤崎シークレット	6-5	大東あづま
	袖ヶ浦ポニーイズ	8-2	鷺沼マリオンズB
	ならしのフレンズ	5-4	大久保フロッグス
	谷津サザナミ	10-0	習志野ベイドリームス
	津田沼少年野球団	8-7	習志野フェニックス
▽2回戦	向山ファイターズ	12-2	藤崎シークレット
	ならしのフレンズ	10-7	袖ヶ浦ポニーイズ
	鷺沼マリオンズA	7-4	谷津サザナミ
	津田沼少年野球団	5-1	美花レジェンド
▽準決勝戦	ならしのフレンズ	5-3	向山ファイターズ
	鷺沼マリオンズA	10-3	津田沼少年野球団

▽決勝戦
 鷺沼マリオンズA
 0 2 2 2 0 6
 0 0 0 0 1 1

ならしのフレンズ
 △バツテリー 黒澤育、永田・中里(鷺沼) 羽鳥、岩沢・松元優(フレンズ)

▽本塁打 原田(鷺沼)
 △三塁打 上山、清野(鷺沼)
 △二塁打 松元優(フレンズ)

【後記】
 決勝戦は鷺沼マリオンズAとならしのフレンズとの対戦となった。鷺沼は2回表、右前安打の5番上山が連続盗塁で三塁へ。フレンズ右翼手・奥山の好捕もあり、二死となるが、8番原田の左中間本塁打で2点先取。3回表には、2番清野が四球、盗塁。3番中里は投手返しの中前安打と盗塁で、走者二、三塁とし、上山の三塁打で2点を追加する。フレンズは3回裏に9番岩沢が右前安打で出塁するが無得点に終わる。鷺沼は4回表、先頭の7番中澤が中前安打と連続盗塁で三塁へ。9番川野のバントスクイズが成功。川野はそのまま生きて盗塁し、悪送球で三塁に達し、1番住田のバントスクイズで川野もかえり2点を追加して、6-0とする。

一方、フレンズは5回裏、先頭の1番後藤が右前安打。後藤は悪投球で三塁に。4回表から守備に入った7番松元暖の内野ゴロの間に後藤がかえり1点を返す。二死ながら続く8番松元優は左中間二塁打。松元暖と同じく4回から守備についた9番浅沼も中前安打で走者一、三塁と好機を作る。しかし、浅沼の盗塁の間に松元優が本塁を狙うものの憤死し、試合は終了した。

鷺沼マリオンズの中里奏太キャプテンは「みんなが優勝することができて、本当にうれいんです。今回の優勝はチームの一体感の勝利だと思います。みんなが協力して、チームバッテリーングで得点を重ね、固い守備で相手を抑えることができた。」

中学ソフトボール 三中が千葉県大会を制す！ 関東大会出場



千葉県大会優勝の三中(写真提供:第三中学校ソフトボール部)

きました。一人ひとりが自分の役割を果たし、全員が一つの目標に向かってがんばった結果だと思っています。まずは支えてくれたコーチや家族、応援してくれたみなさんに感謝の気持ちを伝えたいです。みんなの応援が続く限り頑張ります」と話した。

で諦めずに戦うことができました。これからもそれぞれの課題を意識して練習し、さらに強いチームを目指していきます。次は県大会でベスト4を目標にがんばりたいと思います。引き続き応援よろしくお願います」と話した。

第三中学校ソフトボール部は、7月27日から30日まで千葉県総合スポーツセンターほかで開催された第78回千葉県中学校総合体育大会で優勝し、関東大会に出場した。

県大会には32チームが参加。三中は勝ち進み、強豪が集まるブロックの中、準々決勝戦では松戸一中に11-0で勝利し、準決勝戦は八木が谷中と対戦。三中は村山選手の本塁打で試合を決め、9-1で勝利した。決勝戦は船橋中との顔合わせとなった。先制された三中は5回に小野塚選手が逆転打。6回にも追加点を挙げて、42年ぶりの優勝を挙げた。

勝と、関東大会への切符を手にした。三中の三橋投手は全試合を一人で投げ抜き、失点はわずかに3。チームを優勝に導いた。

第52回関東中学校ソフトボール大会は8月7日から群馬県伊勢崎市で開催。三中は1回戦、桂萱中(群馬)に完封勝利。2回戦の親園中(栃木)との試合は延長12回まで続く。試合は3時間を超え、三橋投手は力投するが5-6で敗れ、出場決定戦に回った。初戦は舞岡中(神奈川)に5-0で完封勝利。金沢中(神奈川)に2-7で敗れ、全国大会出場には一歩届かなかった。